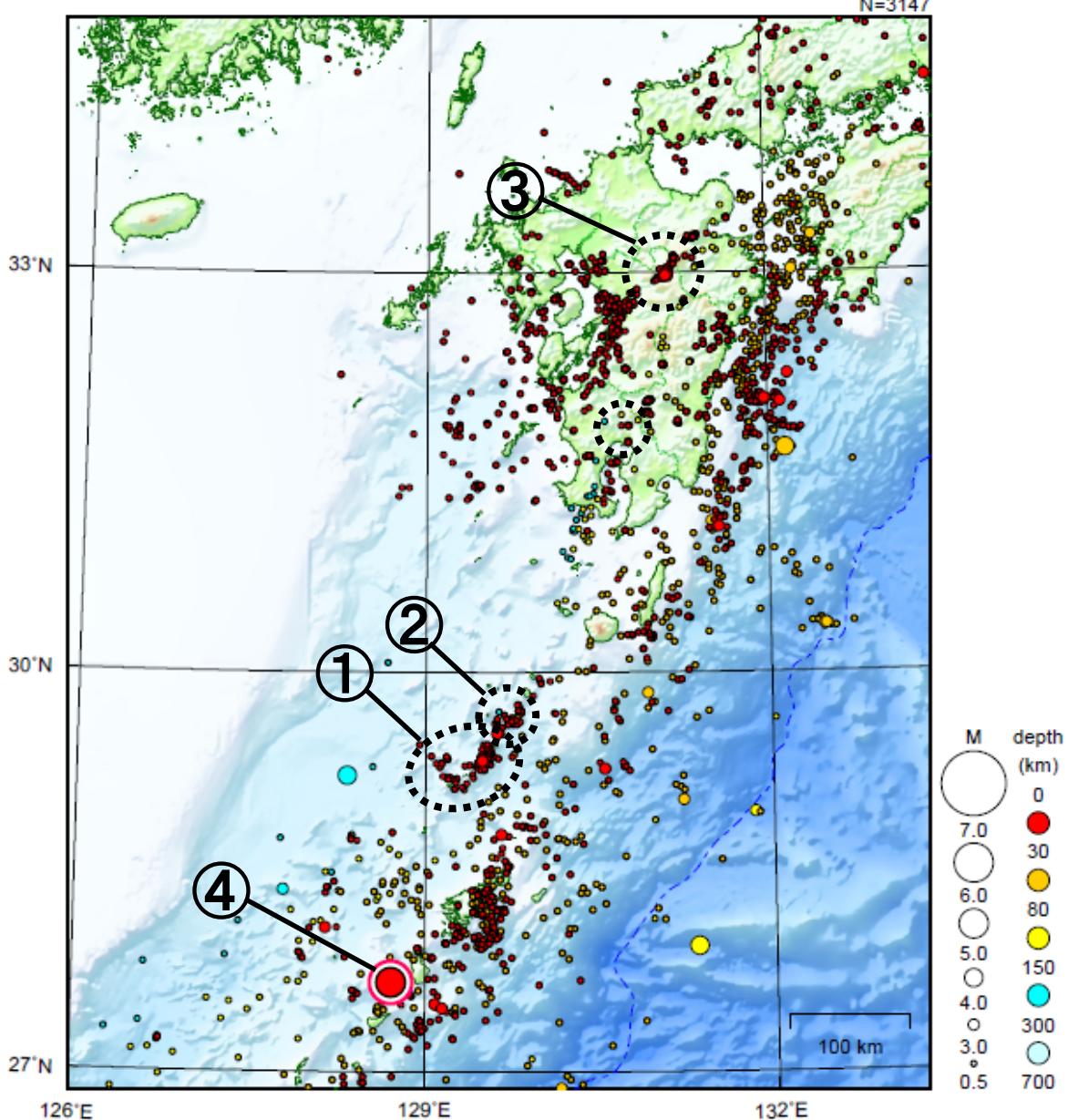


# 九州地方

2025/12/01 00:00 ~ 2025/12/31 24:00

N=3147



地形データは日本海洋データセンターの J-EGG500、米国地質調査所の GTOPO30 及び米国国立地球物理データセンターの ETOP02v2 を使用

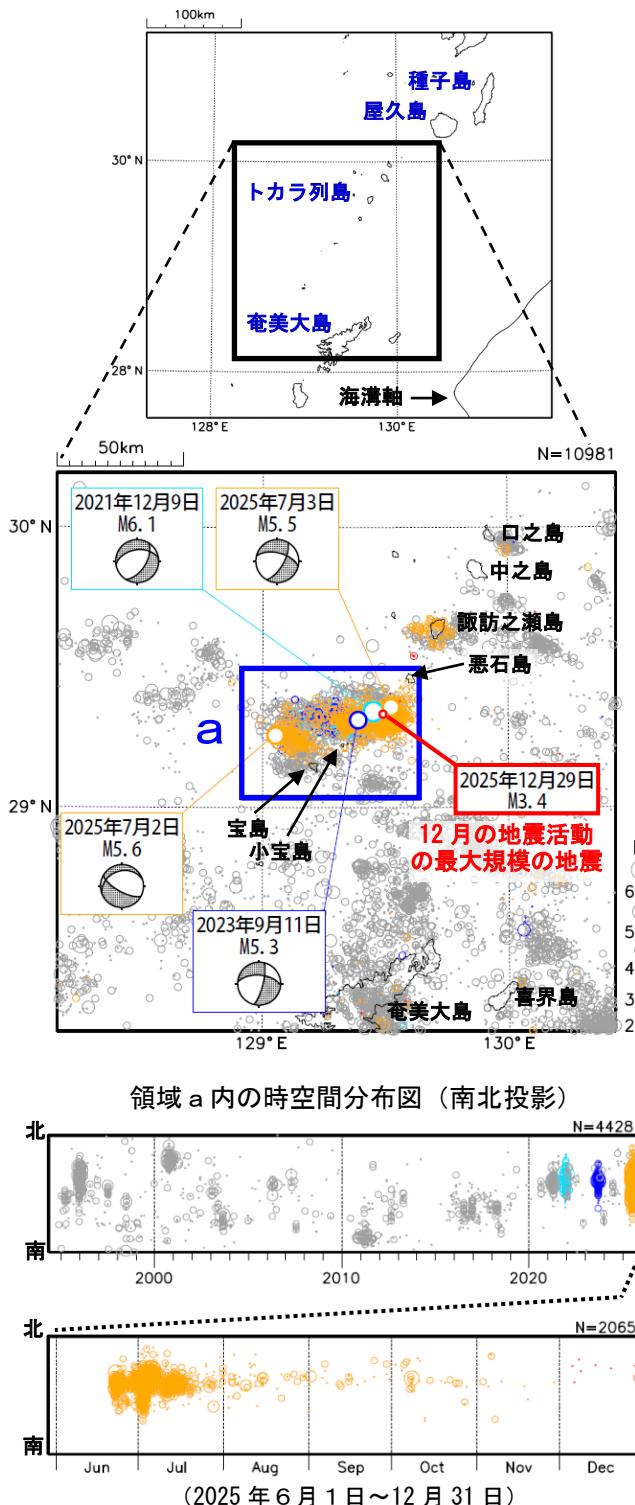
- ① トカラ列島近海（小宝島付近）では、12月中に震度1以上を観測した地震が10回（震度3：1回、震度1：9回）<sup>(注)</sup>発生した。このうち最大規模の地震は、29日に発生したM3.4の地震（最大震度3）である。
- ② トカラ列島近海（諏訪之瀬島）では、12月中に震度1以上を観測した地震が10回（震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、21日に発生したM3.5の地震（最大震度3）である。
- ③ 熊本県阿蘇地方では、12月中に震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、29日に発生したM3.9の地震（最大震度3）である。
- ④ 12月30日に奄美大島近海でM5.7の地震（最大震度4）が発生した。

<sup>(注)</sup>震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

[上述の地震は M6.0 以上または最大震度4以上、陸域で M4.5 以上かつ最大震度3以上、海域で M5.0 以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。]

# トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）

**震央分布図**  
 (1994年10月1日～2025年12月31日、  
 深さ0～50km、M≥2.5)  
 2021年12月の地震を水色○で表示  
 2023年9月の地震を青色○で表示  
 2025年6月～11月の地震をオレンジ○で表示  
 2025年12月の地震を赤色○で表示  
 図中の発震機構はCMT解



※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

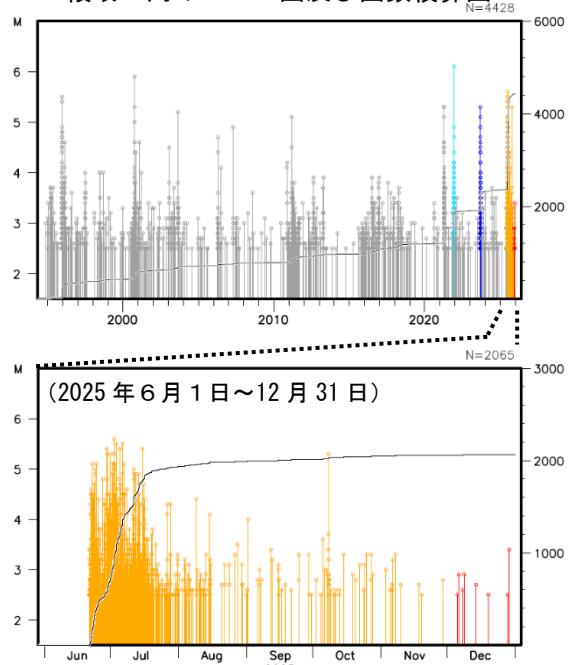
トカラ列島近海（小宝島付近）では、2025年12月に震度1以上を観測した地震が10回（震度3：1回、震度1：9回）<sup>(注1)</sup>発生した。このうち最大規模の地震は29日07時51分に発生したM3.4の地震（最大震度3）である。今回の地震活動は2025年6月21日から活発になっており、7月3日16時13分にはM5.5の地震（最大震度6弱）が発生した。地震活動は7月20日頃から低下してきており、規模が大きな地震の回数も減少しているが、活動は継続している。6月21日から12月31日までに震度1以上を観測した地震が2405回（震度6弱：1回、震度5強：3回、震度5弱：4回、震度4：52回、震度3：165回、震度2：586回、震度1：1594回）<sup>(注1)</sup>発生した。これらの地震は陸のプレート内で発生した。これらの地震により、住家一部破損1棟の被害が生じた（被害は総務省消防庁による）。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動がある。2023年9月8日から活発になった地震活動では、9月30日までに震度1以上を観測した地震が346回発生した（最大震度4の地震2回を含む）。また、2021年12月4日から活発になった地震活動では、12月31日までに震度1以上を観測した地震が308回発生した。このうち、12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）により、鹿児島県十島村（悪石島）でがけ崩れ等の被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

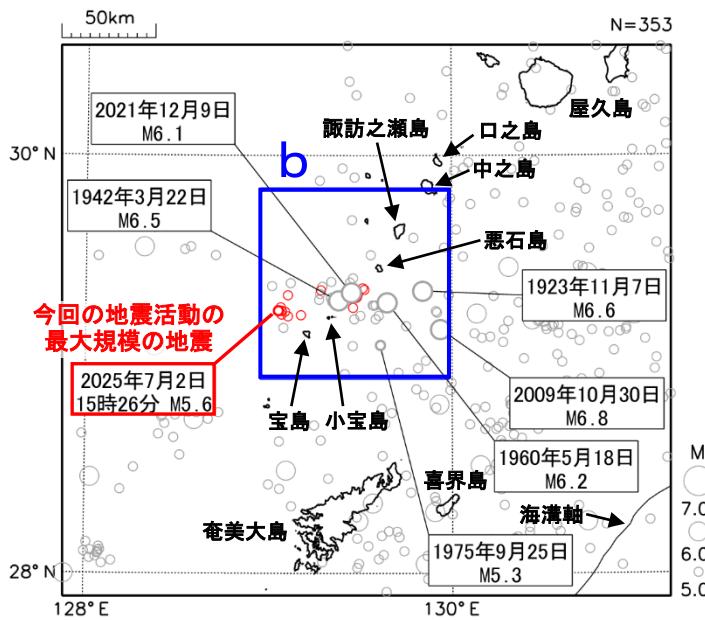
今回の地震活動と過去の主な地震活動について、活動期間ごとに1年間の期間で比較すると多様な活動の形態が見られる（5ページ後を参照）。この地域の地震活動は、活発な期間と落ち着いた期間を繰り返しながら継続することが多く、個々の地震活動の終わりの時期を特定することが難しい。

**(注1)** 震度1以上を観測した地震の回数は、後の調査で変更する場合がある。

領域a内のM-T図及び回数積算図



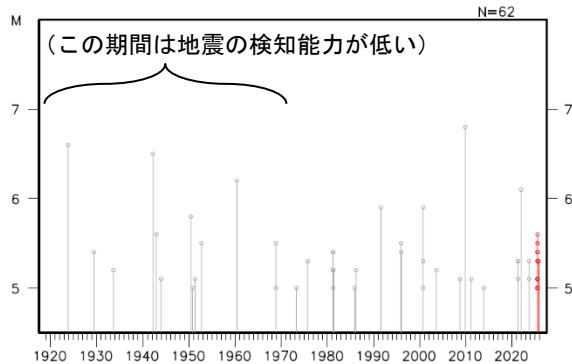
**震央分布図**  
 (1919年1月1日～2025年12月31日、  
 深さ0～100km、M≥5.0)  
 2025年6月以降の地震を赤色○で表示



今回の地震活動の  
最大規模の地震

1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域b）では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2021年12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）では、鹿児島県十島村（悪石島）でかけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。また、1975年9月25日に発生したM5.3の地震では、鹿児島県十島村（小宝島）で地割れの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

**領域b内のM-T図**



※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

## トカラ列島近海の地震活動(小宝島付近)の最大震度別地震回数表

震度1以上の最大震度別地震回数表(2025年6月21日～12月31日)

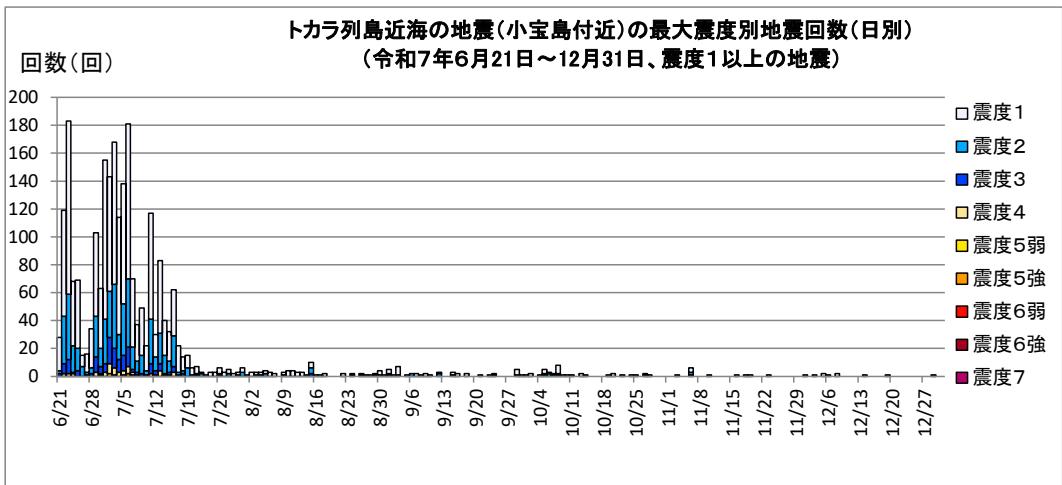
(注)掲載している値は速報のもので、その後の調査で変更する場合があります。

## 【令和7年6月21日以降の月別発生回数】

月別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
6/21 - 30	471	173	43	10	1	0	0	0	0	698	698	
7/1 - 31	1002	382	108	41	3	3	1	0	0	1540	2238	
8/1 - 31	49	12	5	0	0	0	0	0	0	66	2304	
9/1 - 30	30	8	3	1	0	0	0	0	0	42	2346	
10/1 - 31	25	8	4	0	0	0	0	0	0	37	2383	
11/1 - 30	8	3	1	0	0	0	0	0	0	12	2395	
12/1 - 31	9	0	1	0	0	0	0	0	0	10	2405	
総計(6月21日～)	1594	586	165	52	4	3	1	0	0	2405		

## 【令和7年12月1日以降の日別発生回数】

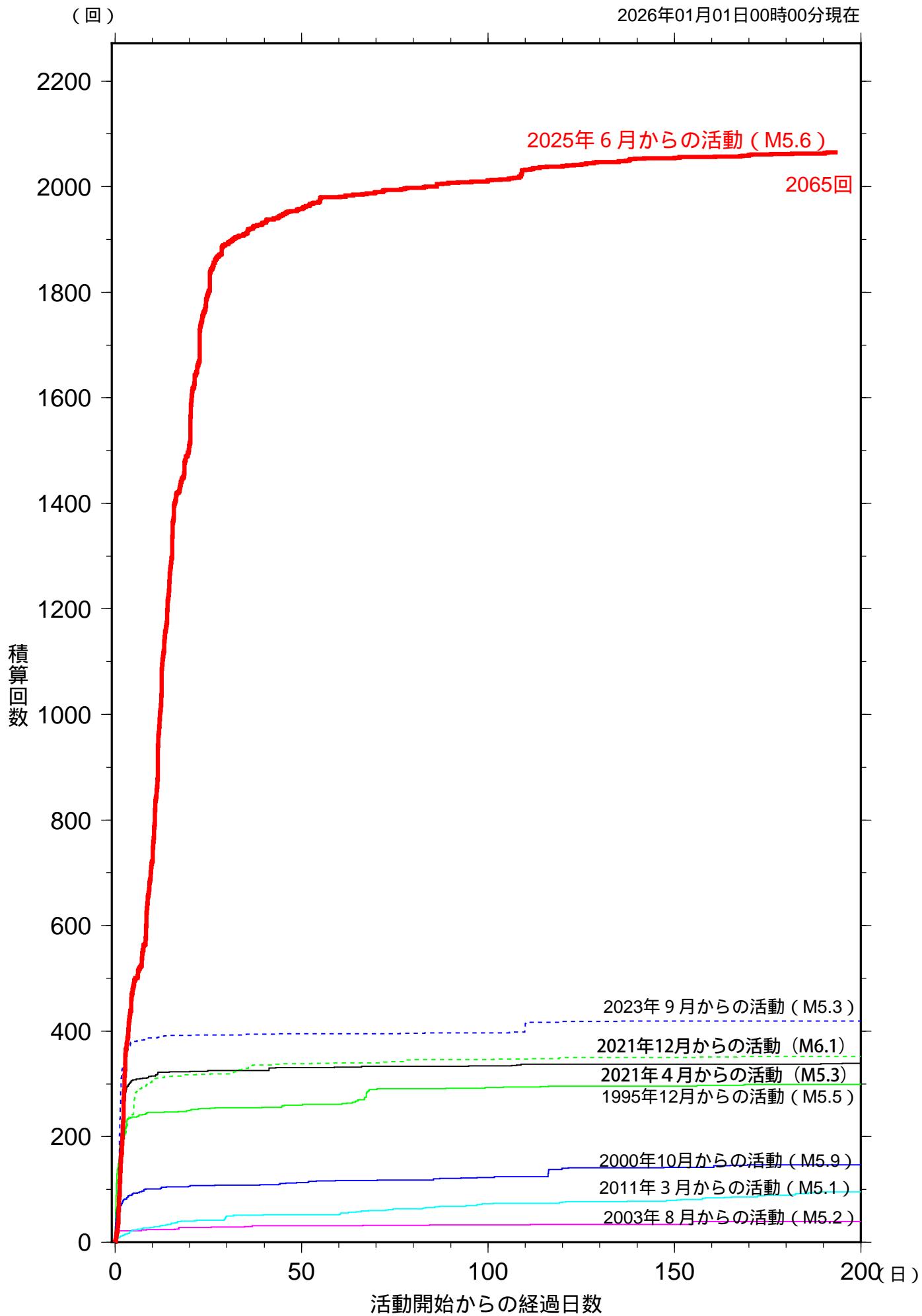
日別	最大震度別回数									震度1以上を観測した回数		備考
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	回数	累計	
12/1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	
12/2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	
12/3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	
12/4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	
12/5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	4	
12/6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	5	
12/7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
12/8	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	7	
12/9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	
12/14	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	8	
12/15	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	
12/19	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	9	
12/20	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/21	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/23	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/24	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/25	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/27	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	
12/29	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	10	
12/30	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
12/31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	
総計(12月1日～)	9	0	1	0	0	0	0	0	0	10		



気象庁作成

# 主な地震活動の地震回数比較（マグニチュード2.5以上）

2026年01月01日00時00分現在



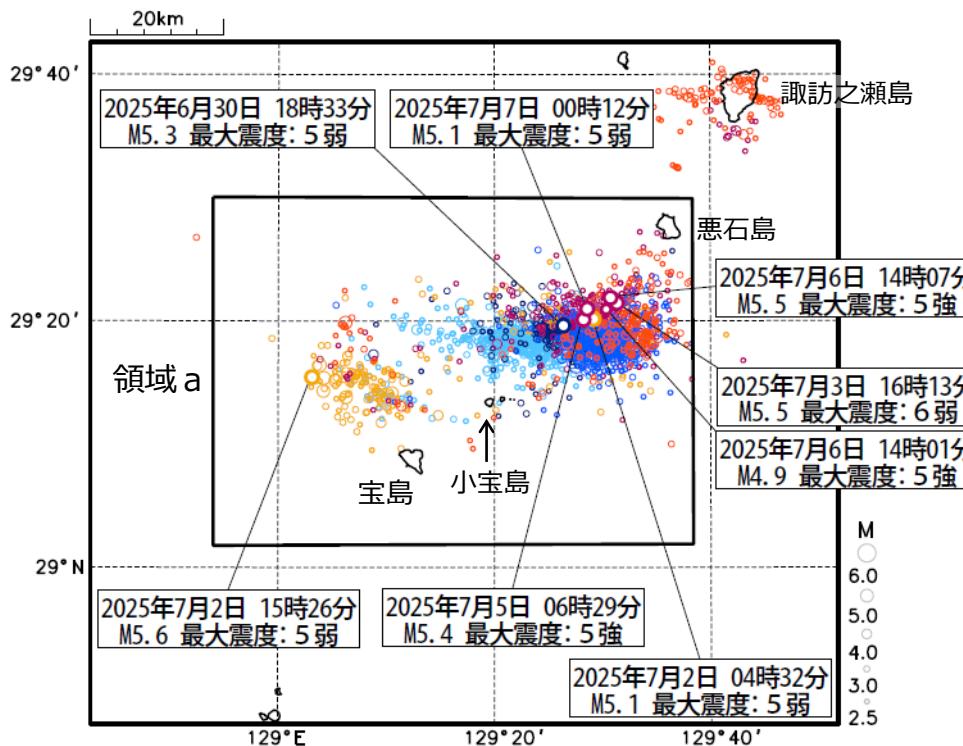
この資料は速報値であり、後日の調査で変更することがある。  
今回の地震のマグニチュードについては、これまでの最大を示している。

気象庁作成

# トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近）2025年6月21日以降の地震活動

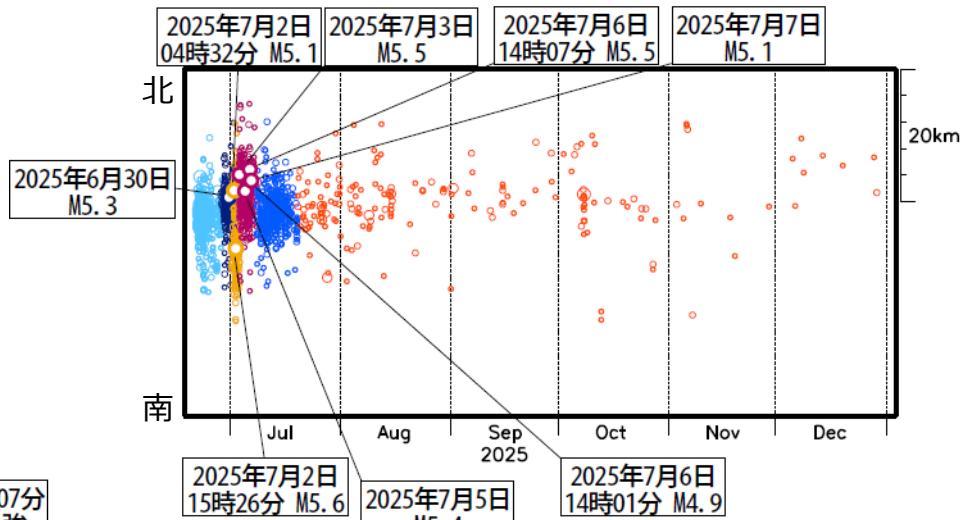
震央分布図  
(2025年6月21日～12月31日、深さ0～50km、M $\geq$ 2.5)

- 2025年6月21日～
- 2025年6月29日～
- 2025年7月2日～
- 2025年7月3日16時13分～
- 2025年7月8日15時～
- 2025年7月20日～

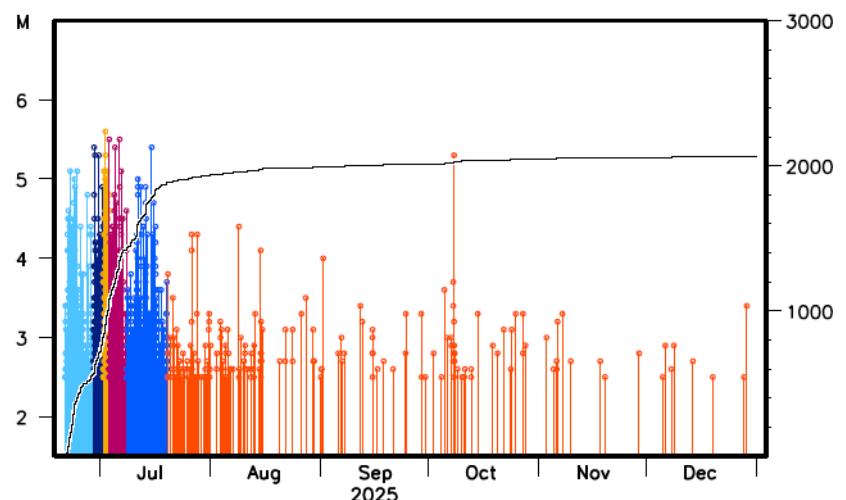


2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 惠石島を使用している。

領域a内の時空間分布図（南北投影）



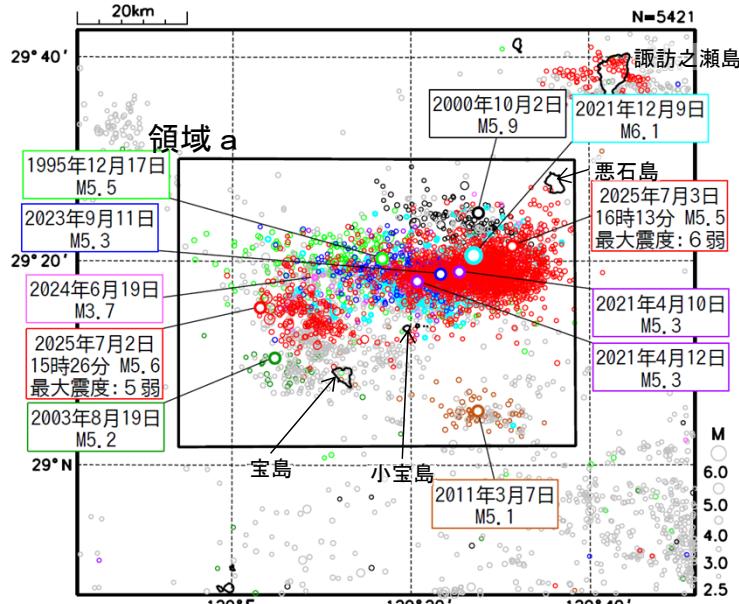
領域a内のM-T図及び回数積算図



# トカラ列島近海の地震活動（小宝島付近） (過去の活動状況との比較 M2.5以上、1年間)

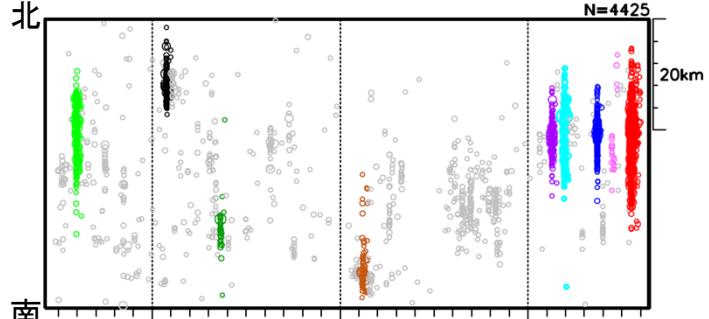
## 震央分布図

(1994年10月1日～2025年12月31日、深さ0～50km、M≥2.5)

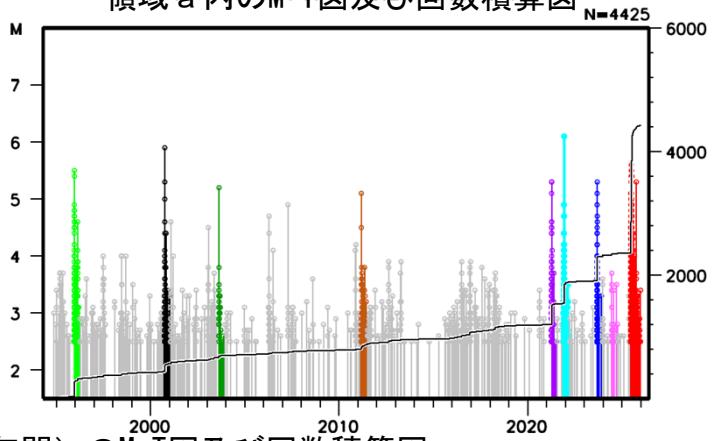


※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

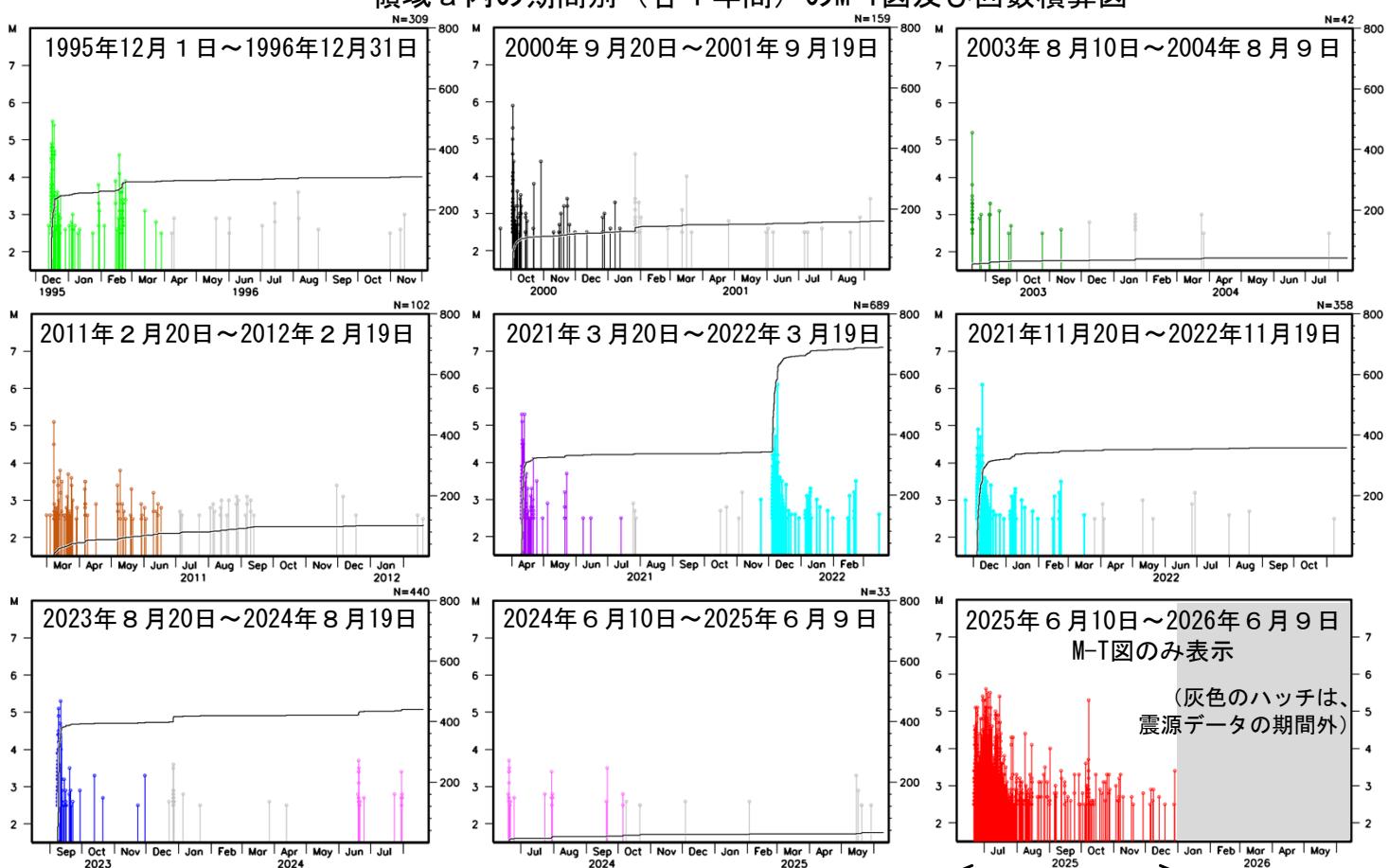
## 領域a内の時空間分布図（南北投影）



## 領域a内のM-T図及び回数積算図



## 領域a内の期間別（各1年間）のM-T図及び回数積算図



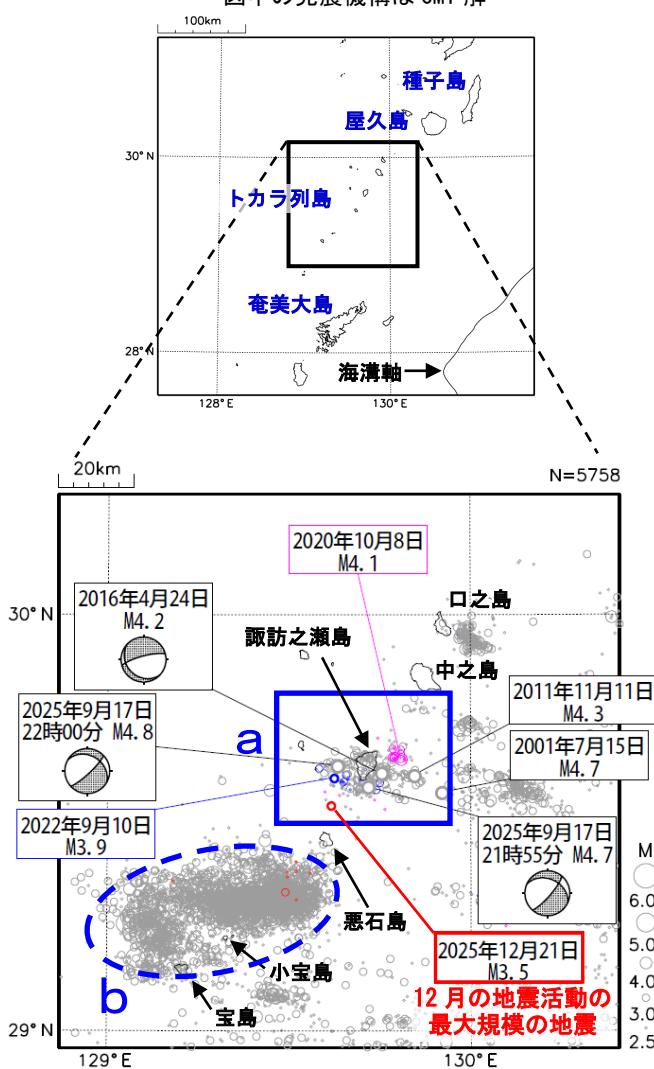
# トカラ列島近海の地震活動（諏訪之瀬島付近）

## 震央分布図

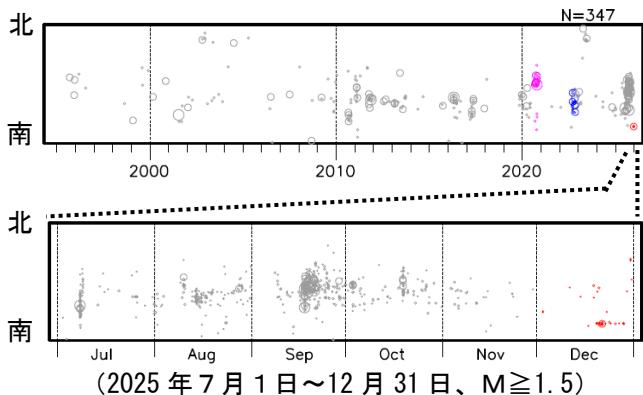
(1994年10月1日～2025年12月31日、  
深さ0～50km、M≥2.5)

2020年9月～10月の地震を桃色○で表示  
2022年9月～10月の地震を青色○で表示  
2025年12月の地震を赤色○で表示

図中の発震機構はCMT解



## 領域a内の時空間分布図（南北投影）



※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 惠石島を使用している。

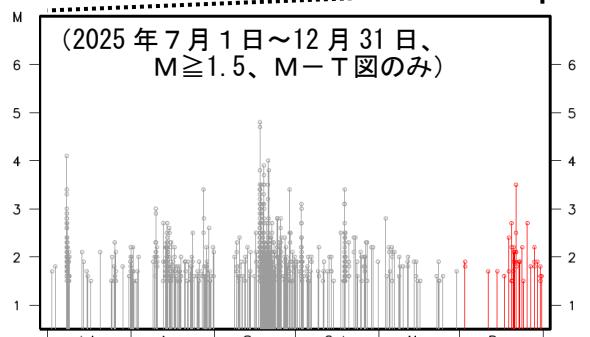
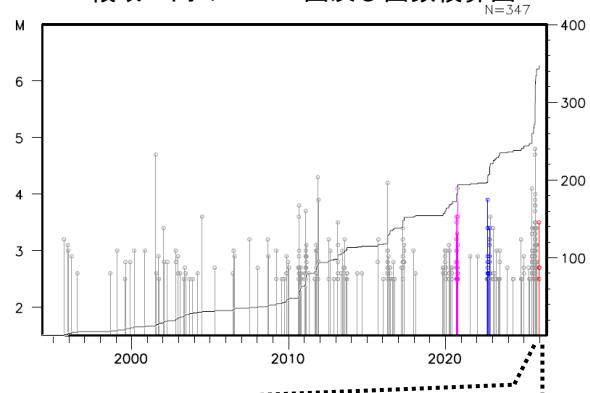
トカラ列島近海（諏訪之瀬島付近）では、2025年12月に震度1以上を観測した地震が10回（震度3：1回、震度2：2回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、21日22時03分に発生したM3.5の地震（最大震度3）である。この地震活動は陸のプレート内で発生した。なお、今回の地震活動域付近（領域a）では、2025年7月から時々まとまった地震活動が見られ、9月17日にM4.7の地震（最大震度5弱）が発生し、地震活動が活発となつた。その後、地震活動は消長を繰り返しながら継続している。7月1日から12月31日までに震度1以上を観測した地震が212回（震度5弱：1回、震度4：3回、震度3：27回、震度2：47回、震度1：134回）（注1）発生している。

1994年10月以降の活動をみると、今回の地震活動域付近（領域a）では、時々まとまった活動が見られる。最近では、2022年9月から10月の活動で、震度1以上を観測した地震が27回（震度3：5回、震度2：4回、震度1：18回）発生した。このうち、最大規模の地震は2022年9月10日に発生したM3.9の地震（最大震度3）である。また、2020年9月から10月の活動で、震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。このうち、最大規模の地震は2020年10月8日に発生したM4.1の地震（最大震度3）である。

なお、今回の地震活動域の南西にある小宝島付近（領域b）では、2025年6月21日から地震活動が活発となつた。

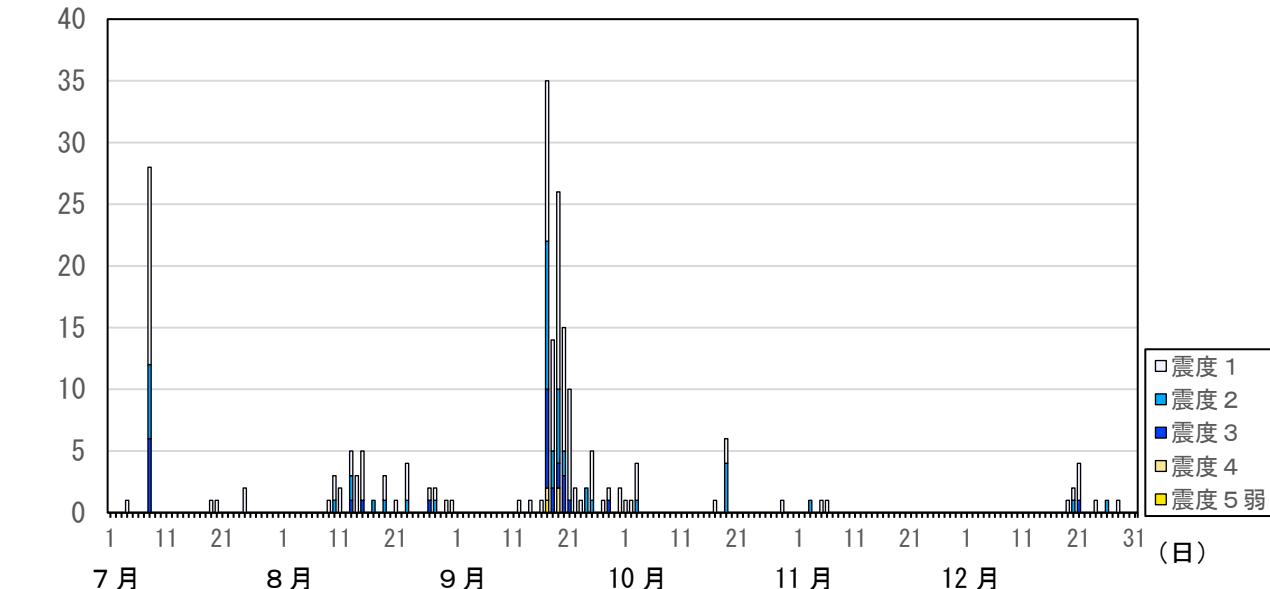
（注1）震度1以上を観測した地震の回数は、後日の調査で変更する場合がある。

## 領域a内のM-T図及び回数積算

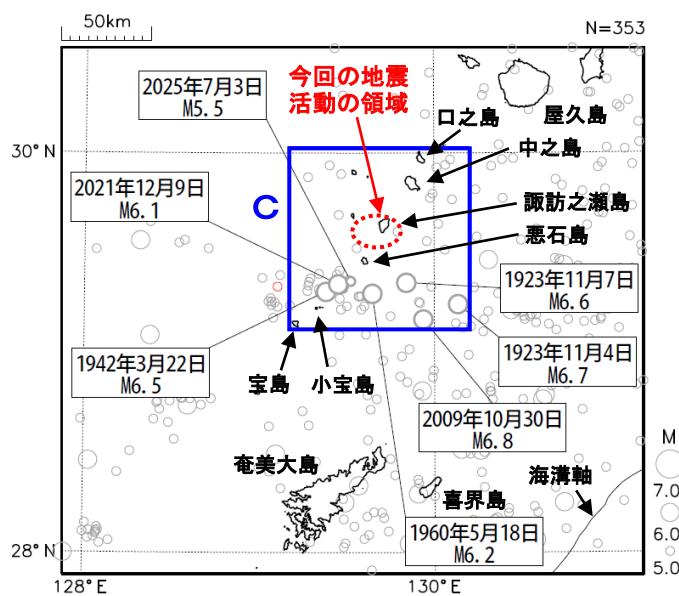


気象庁作成

最大震度別地震回数（日別）  
(2025年7月1日～12月31日、震度1以上の地震)

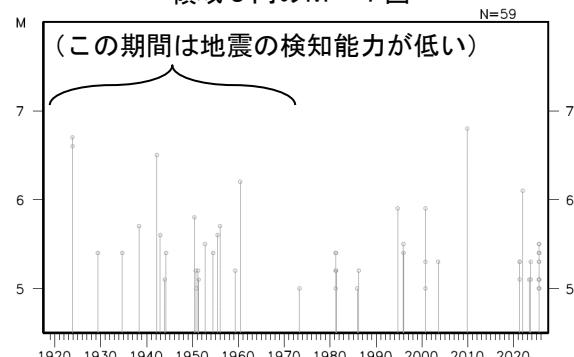


震央分布図  
(1919年1月1日～2025年12月31日、  
深さ0～100km、M≥5.0)



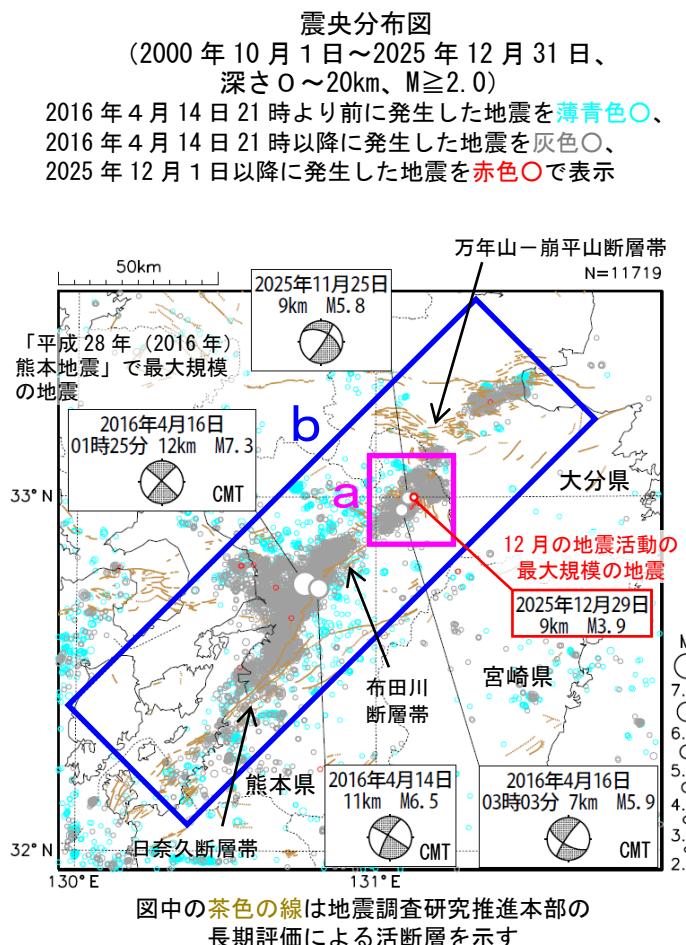
1919年以降の活動をみると、今回の地震活動域周辺（領域c）では、M5.0以上の地震がしばしば発生している。このうち、2021年12月9日に発生したM6.1の地震（最大震度5強）では、鹿児島県十島村（悪石島）でかけ崩れなどの被害が生じた（被害は鹿児島県による）。

領域c内のM-T図



※2025年7月8日15時から、通常用いている観測点に加えて、鹿児島大学設置の臨時観測点 悪石島を使用している。

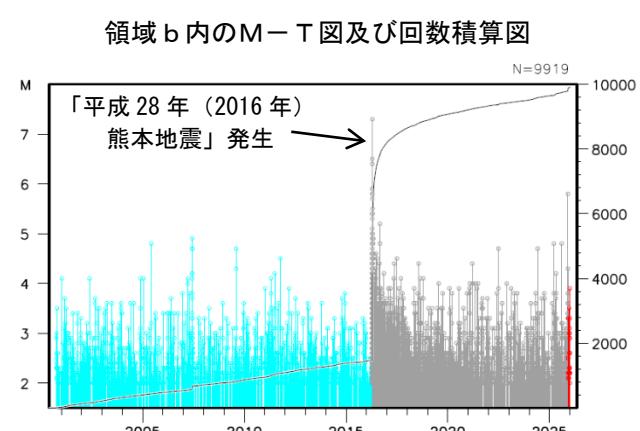
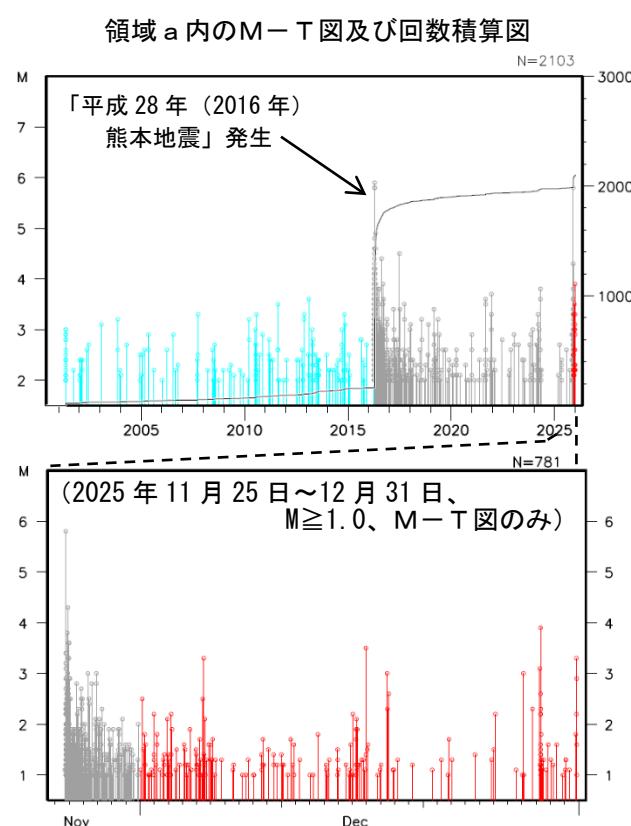
# 11月25日からの熊本県阿蘇地方の地震活動



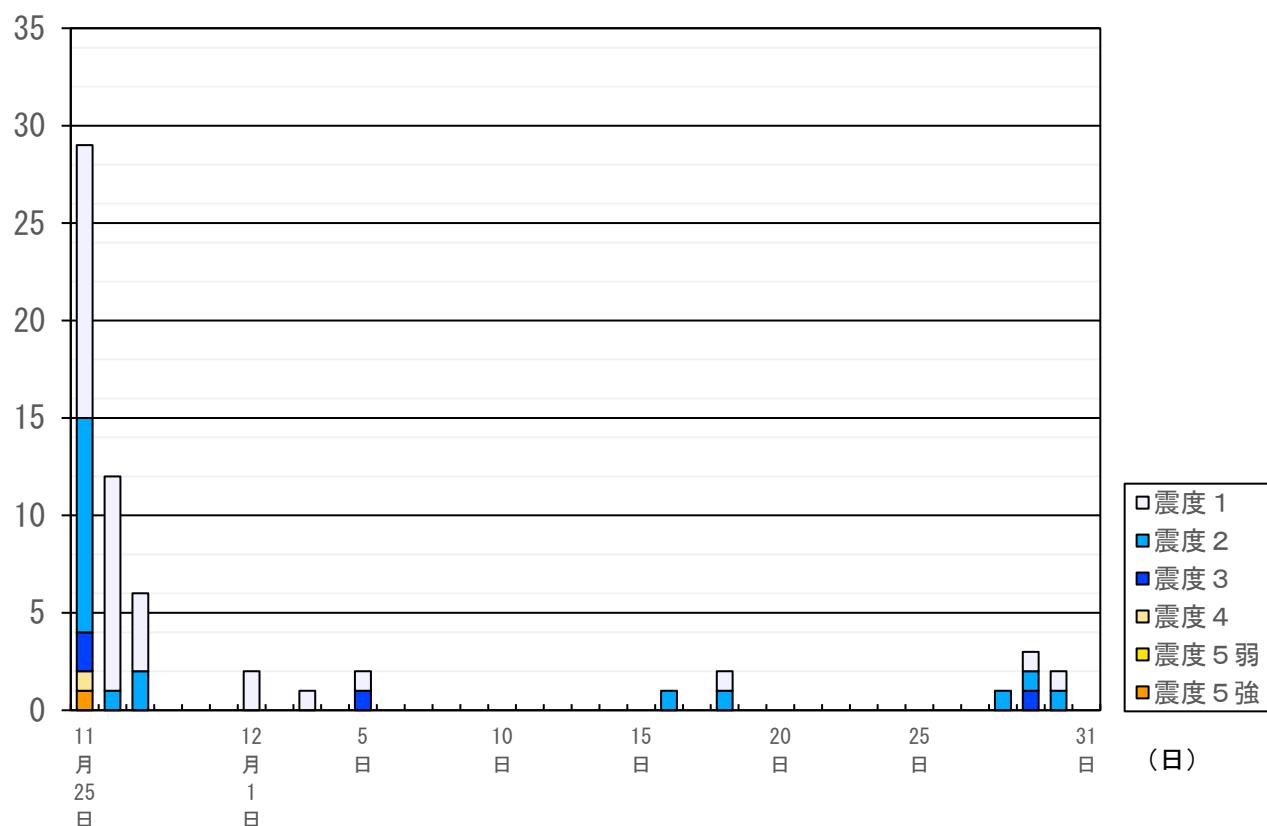
熊本県阿蘇地方では、2025年12月に震度1以上を観測した地震が14回（震度3：2回、震度2：5回、震度1：7回）発生した。このうち最大規模の地震は、29日07時35分に発生したM3.9の地震（深さ9km、最大震度3）である。これらの地震は地殻内で発生した。今回の地震活動域付近（領域a）では、2025年11月25日18時01分にM5.8の地震（深さ9km、最大震度5強）が発生し、熊本県で負傷者1人の被害が生じた（被害は2025年12月3日14時00分現在、総務省消防庁による）。この領域ではM5.8の地震の発生後、12月31日までに震度1以上を観測した地震が61回（震度5強：1回、震度4：1回、震度3：4回、震度2：19回、震度1：36回）発生した。

2000年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）では、2016年4月16日03時03分にM5.9の地震（深さ7km、最大震度5強）が発生している。

なお、領域bでは「平成28年（2016年）熊本地震」が発生し、熊本県で死者275人、大分県で死者3人などの被害が生じた（熊本県の被害は2025年4月11日現在、熊本県による、その他は2019年4月12日現在、総務省消防庁による）。



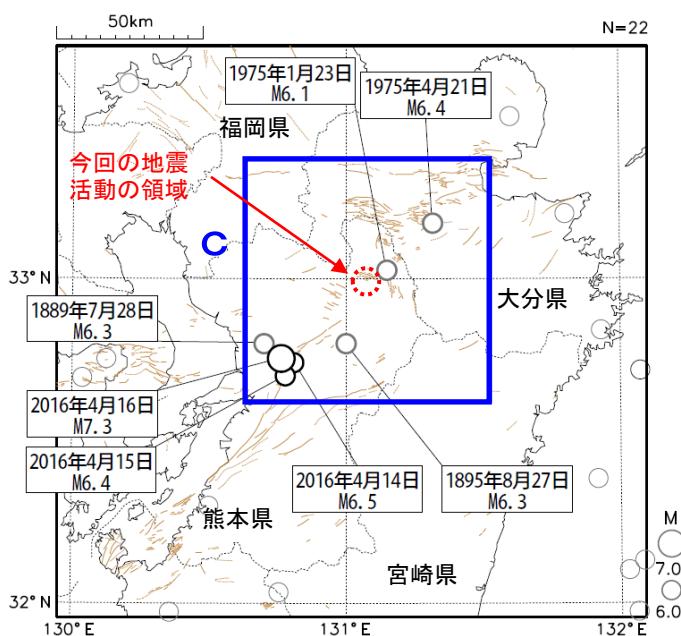
最大震度別地震回数（日別）  
(2025年11月25日18時～12月31日24時、震度1以上の地震)



震央分布図

(1885年1月1日～2025年12月31日、  
深さ0～50km、M $\geq$ 6.0)

2016年4月14日21時より前に発生した地震を灰色○、  
2016年4月14日21時以降に発生した地震を黒色○で表示



図中の茶色の線は地震調査研究推進本部の  
長期評価による活断層を示す

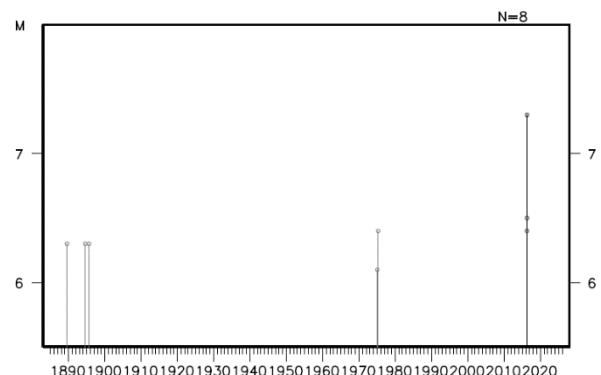
(震源要素は、1885年～1918年は茅野・宇津  
(2001)、宇津(1982, 1985)による\*)

\*宇津徳治(1982)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年、震研彙報、56, 401-463。

宇津徳治(1985)：日本付近のM6.0以上の地震および被害地震の表：1885年～1980年(訂正と追加)、震研彙報、60, 639-642。

1885年以降の活動をみると、今回の地震活動の震央周辺(領域c)では、M6.0以上の地震が8回発生している。このうち、1889年7月28日にはM6.3の地震が発生し、熊本県で死者19人、家屋全倒234棟などの被害が生じた。また、1975年4月21日にはM6.4の地震が発生し、大分県で負傷者22人、家屋全壊58棟などの被害が生じた(被害はいずれも「日本被害地震総覧」による)。

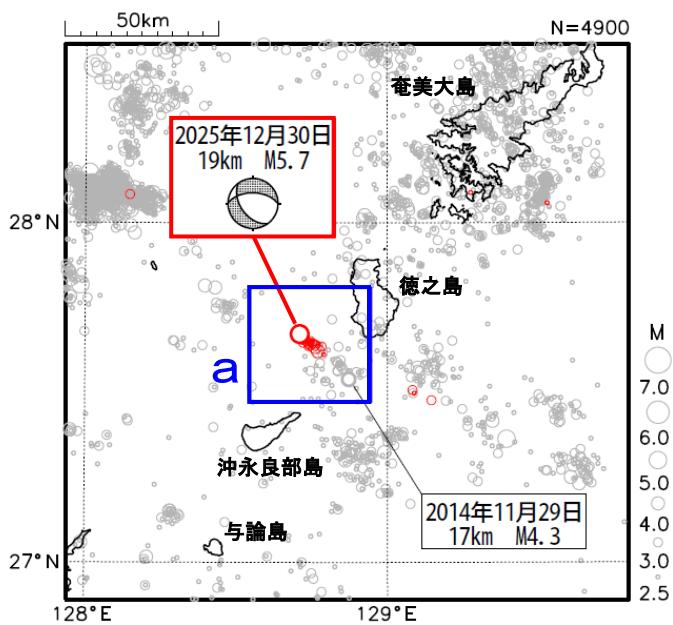
領域c内のM-T図



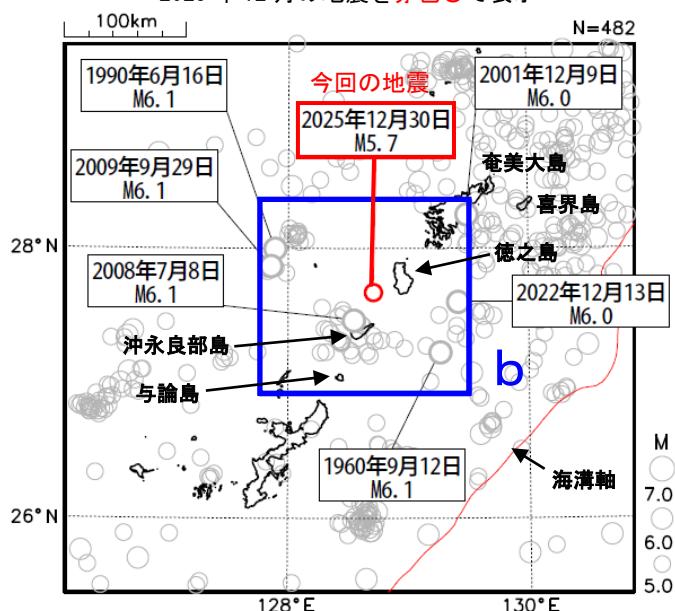
# 12月30日 奄美大島近海の地震

震央分布図

(1994年10月1日～2025年12月31日、  
深さ0～30km、M≥2.5)  
2025年12月の地震を赤色○で表示  
図中の発震機構はCMT解



震央分布図  
(1919年1月1日～2025年12月31日、  
深さ0～100km、M≥5.0)  
2025年12月の地震を赤色○で表示

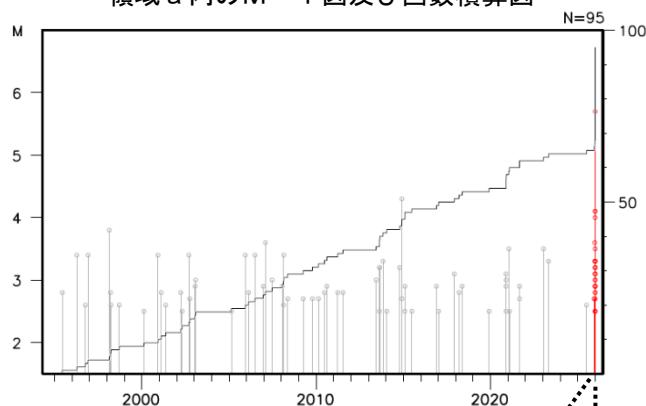


2025年12月30日17時12分に奄美大島近海の深さ19kmでM5.7の地震（最大震度4）が発生した。この地震は陸のプレート内で発生した。この地震の発震機構（CMT解）は北北東～南南西方向に張力軸を持つ正断層型である。

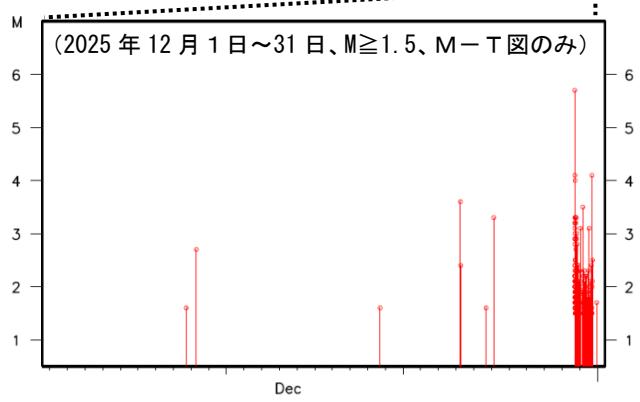
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域a）では、2014年11月29日にM4.3の地震（最大震度2）が発生するなどM4程度の地震は時々発生しているが、M5.0以上の地震は発生していない。

1919年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が6回発生している。2008年7月8日にはM6.1の地震が発生し、与論町のホテルで壁の落下、石膏ボードの破損などの被害が生じた（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域a内のM-T図及び回数積算図



(2025年12月1日～31日、M≥1.5、M-T図のみ)



領域b内のM-T図

